



みさき動物病院長

(高岡市京田)

三崎 将人

獣医さんから健康診断を勧められたことはありませんか？ 私もお勧めする側の一人であり、いつも通り元気で一見健康に見えても、最低年1回（人間に例えると4、5年に1回）は受けた方がいいと思っています。

しかしペットの健康維持でそれよりもはるかに重要なのが、日常のセルフチェックです。ペットとの日々の生活でその様子を十分に観察し、ちょっとした異常に気付いてあげること、そしてその変化を楽観的に放置せず対策してあげるのです。

## 日頃の健康チェック

# 歯やしぐさの変化を見る

例えば、歯です。嫌がって歯磨きをさせてくれないペットは多いのですが、歯磨きができなくても観察はしてあげてください。汚れや歯石、歯茎の腫れや出血、におい、歯のぐらつきなど。人間と同様に歯を健康に保つことは全身の健康を保つことにつながり、犬では約15%寿命が延びるといいます。

タもありません。痛みや違和感なくおいしく食べられるよう維持してあげることは、快適に生活する上でとても重要なことです。

行動や歩き方もよく見てください。犬猫は本能的に痛みや弱みを隠そうとします。このため重度の慢性関節炎があっても、気付くことができない飼い主さんも多いです。痛みやしぐさの変化を見つけて治療してあげること、若々しい伸び伸びとした生活を取り戻せるかもしれません。

動物病院で行う血液検査やエックス線検査などの健康診断は、ペットの健康維持のための一つの手法にすぎません。愛するペットにいつまでも元気で一緒にいてもらうためには、誰が見ても分かるような明らかな異常を示す前に、分かってあげてほしいと思います。



猫を仰向けにして腹部の皮膚を触って腫瘍の有無をチェックする「猫などでマッサージ」。自宅でできる健康チェックの一つ

動物病院で行う血液検査やエックス線検査などの健康診断は、ペットの健康維持のための一つの手法にすぎません。愛するペットにいつまでも元気で一緒にいてもらうためには、誰が見ても分かるような明らかな異常を示す前に、分かってあげてほしいと思います。

毎月第一土曜掲載